



—— 世界が注目する韓国の若手作家 ——

シリーズ〈韓国文学のオクリモノ〉第3弾!



『走れ、オヤジ殿』

キム・エラン 著 古川綾子 訳

四六判並製 / 272 ページ (予定) / 予価: 本体 1800 + 税
ISBN978-4-7949-6981-1 C0097

妊娠中の母を捨て出奔した父は、私の想像のなかでひた走っている。今まさに福岡を過ぎ、ボルネオ島を経て、グリニッジ天文台に向かい、スフィンクスの左足の甲を回り、エンパイア・ステート・ビルに立ち寄り、イベリア半島のグアダルマ山脈を越えて、父は走る。蛍光ピンクのハーフパンツをはいて、やせ細った毛深い脚で——。

韓国を代表する若手女性作家キム・エランが2005年に発表し、韓国日報文学賞を歴代最年少で受賞したデビュー作。父親の不在や貧しさ、うまくいかない他者とのコミュニケーションなどに傷つき悩みながらも、都会の片隅で懸命に生きている若者たちのリアルな日常をユーモラスな筆致と温かい視線で描き出す。無責任で威厳がなく、滑稽でどこか憎めない父親像が話題となった表題作のほか、第1回大山大学文学賞を受賞した「ノックしない家」など9つの作品を収録。本国では累計8万部を記録。(韓国の人口は約5107万人)



〈収録作〉
走れ、オヤジ殿
コンビニへ行く
ホッピング
彼女には眠れない理由がある
永遠の話者
愛の挨拶
海辺でやたらと花火を上げるのは誰だ?
紙の魚
ノックしない家

10月11日刊行 『ギリシャ語の時間』ハン・ガン

11月9日刊行 『三美スーパースターズ 最後のファンクラブ』パク・ミンギョ

以降続刊 全6巻予定 (タイトルは仮題です)

『誰もいない』ファン・ジョンウン 2018年1月予定
『とてつもなく真昼の恋愛』キム・グミ 2018年3月予定
『鯨』チョン・ミョングアン 2018年5月予定

【著者プロフィール】キム・エラン

キム・エラン (金愛爛): 1980年生まれ。2002年に短編「ノックしない家」で第1回大山大学文学賞を受賞し、デビュー。2005年に本作『走れ、オヤジ殿』で韓国日報文学賞を歴代最年少で受賞するなど、早くからその才能に注目が集まった。日本では2011年に発表した最初の長編小説『どきどき 僕の人生』が翻訳出版され、さらなる邦訳が待たれていた。

FAX03-3518-4944

配本申込みメ切11月22日

晶文社新刊委託注文書	取次・貴店印	〈韓国文学のオクリモノ〉 『走れ、オヤジ殿』 広告予定 日経全五段 毎日全五段 うち約20% キム・エラン 著 【文芸書・海外文学】四六判並製・272ページ 予価: 本体1800円+税 ISBN978-4-7949-6981-1 C0097 12月上旬配本予定	晶文社	申込部数
				委託
				冊
		第1回配本 『ギリシャ語の時間』ハン・ガン 著 四六判並製・240ページ 本体1800円 ISBN978-4-7949-6977-4 C0097		注文 冊
		第2回配本 『三美スーパースターズ 最後のファンクラブ』パク・ミンギョ 著 四六判並製・364ページ 本体2000円 ISBN978-4-7949-6980-4 C0097		注文 冊
	ご担当 様			